



ガクアジサイ
(花庭)

つながい

自ら動き、感じ、楽しむ ～笑顔あふれる幼稚園～
～やさしく かしく たくましく～

第 4 号

令和4年6月15日発行
山口大学教育学部附属幼稚園

副園長 大森 洋子

イチブセンフ

ある朝、Aちゃんはお母さんと離れるのが寂しくて涙が出ました。Aちゃんのお母さんは、先生に抱かれたAちゃんから足早に去りながら、「また元に戻ってしまっって…」とAちゃんと同じくらい悲しそうにお話されました。お子さんに泣かれると胸が痛み、まさに「後ろ髪が引かれる思い」なのですよね。(私自身も経験しました。) そんなお母さんに「ずっと続く訳じゃないですよ。すぐ泣き止みますよ」と話していると、そう言い終わるか終わらないかのうちにAちゃんの泣き声が聞こえなくなりました。「あっ、ほんとだ、泣きやみましたね。」とお母さんは少し安堵した表情になりました。

私たち保育者は、「泣く」という行為のその先に、やがては泣き止む姿や先生から離れて遊びだす姿、そのあとのたくさんの笑顔を描くことができます。けれども、保護者の方にとっては、「大丈夫かしら?」「あの後どうなったかしら」と心配は尽きません。見通しがもてないとき、人は不安になるのですね。その後の様子や見通しなどを私たちは保護者の方にしっかり伝えないといけないな、と改めて思いました。

「見通しをもつ」と共に、「今見ていることが全てではない」と受け止めることも大切なように思います。目の前でおきていることや子どもが「こうだった」と言うことは、「事実」ではありますが、「全て」ではありません。いろいろなできごとの中の「一部」なのです。子どもは幼稚園で何時間も生活し、いろいろなことに出会い、いろいろなことを経験しています。泣いている子どもがずっと泣いている訳ではないように、怒っている子どもも元気いっぱいの子どものも、何やら悲しそうにしている子どももケンカ中の子どもも、いつもそうなのではないし、それがずっと続く訳でもありません。「そういうときもある」のであって、その姿を受け止めながら、後ろからそっと支えていくことが私たち大人の務めだと思っています。

さて、「保育参観」はいかがだったでしょうか? 短時間で申し訳なかったですが、きっといろいろな子どもの姿が見えたことと思います。どれもその子どもの姿で、「こんなこともある」という一つの姿です。保育参観を通していろいろな姿をたくさん見つけてほしいし、「あれ?」と思った姿は、それが今後どんなふうに変容していくかを見てほしいなと思います。子どもたちのいろいろな部分をどれだけ見つけられるか、というのも参観の楽しみの一つではないかと思います。



毎日子どもと接していると、その子どもたちのことがどんどんかわいくなってきます。保護者の皆様も日々の送迎や参観などで触れ合うことを通して、我が子のクラスメートを中心に子どもたちが皆愛おしくなっていることでしょう。このことは、毎日顔を合せる「附属の保護者」の醍醐味でもあると思います。みんなの視線がみんなを育ててくれています。これからも、温かいまなざしをたくさん注いでくださいまよう、どうぞよろしくお願いいたします。

避難訓練 (5/31) : 今年度初めての避難訓練は、火事を想定して実施しました。放送は座って聞く、先生の言うことに従う、煙を吸わないよう気を付ける (ハンカチやマスクで口を覆う)、「おはしもちの約束」(おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ちかよらない) を守るなどを学びました。

また、火事だけでなく、土砂災害や地震などでも避難することがあることを聞き、子どもたちなりに思考を巡らせていました。繰り返し訓練を行うことで、非常時の行動が分かり身についていくといいなと願いつつ、何よりも大人が危機管理マニュアルなどをしっかり頭に入れて、高い危機管理意識をもたなくては…と思いました。プールや水遊びの指導を間近に控え、6月2日には、教職員の AED 研修を実施しました。





花組：暑くなり、水に触れる機会が多くなりました。木々などに吊るしたお化けたちに霧吹きをかけてやつつけたり、魚すくいをしたり、泡遊びをしたり、川や池で遊んだりなどを「先生と一緒に」楽しんでいます。



風組：風組の池遊びや泡遊びは、「よし、やるぞ」という感じで始まります。目的をもって遊べるようになるのですね、水鉄砲を飛ばしたり、水を溜めたり流したり、混ぜたりかけたりしながら、「友達と」楽しんでいます。



星組：5/27、農学部附属農場の野菜レンジャーさんに来ていただいて、「もみまき」をしました。育苗して、植えられるほどの苗に成長したら、泥を入れたペットボトルに植えて園庭のビオトープに入れます。（田んぼのような状態にします。）手軽にできる「米作り」で、秋には稲刈りや稲こきも体験する予定です。

6/8,9には、一年生との交流で一緒にリレーなどを楽しみました。一年生に教えてもらったり、カニ歩きリレーなどを一緒に考えたり、自己紹介やゲームなどをして親しみをもち、また交流したい気持ちになりました。

PTA も頑張っています：「短時間で・静かに」と難しいことをお願いしていますが、手際よく活動されています。PTA 活動の目的の一つである「会員の親睦を深める」ことが、なかなか実現しにくい状況ではありますが、できる形で工夫しながら少しずつ活動しておられて素敵だなと思っています。



花組「懇親会」



風組「レクリエーション」



幼稚園祭り準備



花の植え替え



11日（土）のお父さん参観日では、雨の中作業もしていただきありがとうございました。短時間であつという間にきれいになり、本当に助かりました。これもまた3年ぶりの実施。お父様方にやっと幼稚園に来ていただくことができうれしいです。

次は幼稚園まつりです。コロナ前の幼稚園まつりを知っておられる方には物足りないかも知れませんが、この2年間保護者の参加なしでおこなってきたので、一緒にできることはとてもうれしいことです。「子どもたちの笑顔のために」と少しずつ準備を進めてくださっています。ご協力よろしくお願いいたします。